



上田会長がABU会長に選出

アジア・太平洋地域の放送機関などが加盟するABU＝アジア太平洋放送連合の年次総会が、きょうまでの2日間の日程でトルクメニスタンの首都アシガバートで開かれ、NHKの上田良一会長が、ABUの会長に選ばれました。任期は2021年末までです。NHKがABUの会長を務めるのは今井義典副会長（ABU会長在任2008年11月～2011年1月）以来、6人目です。また、NHK会長としては、橋本元一会長（同2005年11月～2008年1月）以来、5人目です。



<上田会長のコメント>

「放送のデジタル化やインターネットの普及を契機に新しいメディアが次々に台頭し、放送業界はいま歴史的な変化に直面しています。この環境変化に適応し、進化するために、会員の声に謙虚に耳を傾け、誠実にそして全力で職務に取り組む決意です」

今年の総会は、「ニューメディア時代の成長戦略」をテーマに、ソーシャルメディアなど新しいメディアの影響力が強まる中、放送機関はどのような発展をめざすべきかや、アジアから世界の視聴者に向けたコンテンツを発信するための工夫や課題、新たな技術など、幅広い分野にわたって意見が交わされました。

<参考>

◆ABUの新体制◆（2018年10月5日～）

会 長：上田良一（NHK 会長）（新任）

副 会 長：スプリヤ・サファー（インド・DDI会長）（継続）

孫玉勝（中国・CCTV副台長）（継続）

イブラヒム・エレン（トルコ・TRT 会長）（新任）

◆ABUとは◆

Asia-Pacific Broadcasting Union＝アジア太平洋放送連合（本部：マレーシア・クアラルンプール）。1964年に設立され、73の国と地域から279の放送機関等が加盟（2018年8月現在）。「ABUロボコン」の開催や国際共同制作のほか、ニュース素材交換や技術協力などを行っている。